

湯梨浜中学校だより

湯梨浜町立湯梨浜中学校 校長 武田基資（令和3年6月18日）



1 学期の仕上げの時期に入ります

早いもので1学期も残り1ヶ月ほどになりました。1学期最後の日まで、学習面でも生活面でも、一日一日を充実させていってください。学校運営協議会、町教育委員会計画訪問などで授業を参観された来校者からは、学校全体がとても落ち着いていて学習に集中している生徒が多いという感想をいただきました。授業では50分間脳をフル活動させることが大切です。これからも、今、何を考える場面なのか、話し合っって何を完成させればいいのか、見通しをもって活動するようにしましょう。

今週の生徒集会では校歌の歌い直しがあり、少し大きな声が出るようになりました。新型コロナの感染対策上、声を出しにくくなっているかもしれませんが、私たちの学校の大切な校歌ですから可能な範囲でお互いの声を響かせたいものです。生徒会執行部のまとめの言葉に、「校歌が大きい声で歌えて、私たち執行部としても嬉しかったです。よりよい伝統をつくっていきましょう。」と、ありました。今学期はあと数回、校歌を歌う機会があります。いい姿で1学期を締めくくりましょう。

地域の方から嬉しい電話

先日、学校に右のような電話がありました。法律上、横断歩道を横断しようとする人がいれば自動車は止まって歩行者を優先しなくてはならないのですから、運転手は法に従って当然のことをされたのでしょう。それでもお互いに道路を使用する者として譲ってもらったことに礼を返すのはとても素敵なことだと思いますし、その生徒の気持ちを受け止めてくださった運転手も素敵だと思います。こうした心の触れ合いで、お互いを大切にして気持ちよく暮らせる町になっていくと思います。

休日の朝、ローソン周辺の横断歩道で車を止めたら、きちんと止まって礼をしてくれた生徒さんがいました。タスキもヘルメットもしたメガネをかけた男子生徒さんでした。こんなことは初めてだったのでとても嬉しく思い、電話しました。

新型コロナの緊急事態宣言解除でも警戒は継続強化

新型コロナウイルス感染拡大で出されていた国の緊急事態宣言が沖縄を除いて予定どおり解除になるようです。鳥取県では県民の努力の結果この2週間あまり陽性者の発表がなく、ニュースを見るたび安心していました。しかし、宣言解除で全国的に安心感が広がって人の流れが活発になれば、県外との行き来が増え感染が広がる危険性があります。私たち鳥取県民はむしろこれから警戒を強め、感染予防対策を強めなければならないかもしれません。

特にこれからの時期は熱中症の危険があり、マスクを外さなくてはならない場面もあります。そうした場合には、必ず感染予防の原則に沿って考えて行動してください。マスクは飛沫(ひまつ)感染を防ぐものですから、そのマスクを外す場合は、人との距離を2m以上あける、人と向かい合っってしゃべらないなど、マスクがなくてもいいような対策が必要です。その他感染防止のために必要なことを再確認して確実に実行しましょう。

また、最新の変異ウイルスは感染力が強く、予想外の経路で感染が広がることもあります。感染対策をしていたのにたまたま感染してしまったという人が出るかもしれません。TV等でも言われているように、感染者の人権を守るよう行動してください。